

就任あいさつ



誰もが安心して
豊かに暮らせる

共生の

まちづくり

月形町長 上坂 隆一

去る9月25日の月形町長選挙におきまして、多くの町民の皆様のご支持を賜り当選させていただき、月形町政を担わせていただくこととなりました。

大変光栄であり、その職責の重大さを痛感するとともに、あらためて身の引き締まる思いであり、今まさに、町民の皆様からいただいた信頼と期待をしっかりと受け止め、その負託に応え、全身全霊で職務を務めてまいりる覚悟であります。

さて、本町を取り巻く状況は、少子高齢化と生産年齢人口の減少、地域経済・産業の低迷と雇用の停滞、中心市街地の空洞化など、引き続きさまざまな問題に直面しています。

このような状況にあって、私は、全ての町民が力を合わせ、支えあって暮らす「共生のまち」を目指すことを掲げました。

「誰もが安心して豊かに暮らせる共生のまちづくり」であり、み

んなで知恵を出し合い、農業、商工業、福祉等が連携して月形町をもっと元気にしていきたいと思っております。

町政運営におきましては、これまでの町政による引き継ぐべきことは引き継ぎ、私が約束した公約をはじめ、さまざまな政策課題には柔軟性とスピード感を持って、職員とともに力を尽くしてまいります。

また、これまでもお力添えをいただいているところでありますが、以前にも増して、行政と議会が車の両輪のごとく協力し合い、町民の幸せのため、福祉の向上のために専心してまいりる所存であります。

結びになりますが、町民の皆様並びに議員の皆様におかれましては、今後の町政運営に格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町長就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

櫻庭町長12年間の 大役を終え勇退

3期12年にわたり町長を務められた櫻庭町長は、9月30日、役場大会議室で退任のあいさつを行った後、職員に見送られ、慣れ親しんだ庁舎を後にしました。



▲見送りには町民の方も駆けつけました



▲退任式では、櫻庭町長が最後に採用した職員から花束が手渡されました

退任あいさつ

感謝の気持ちと込めて

櫻庭 誠二

私が町長に就任した、平成16年10月3日以来12年に亘り、深い理解と協力を賜りました町民の皆様、議員各位、そして私を支え続けてくれた役場職員、皆様のお陰で務めを終えることができました。心から感謝申し上げます。役場を去る時には、職員はもとより町民の皆様にも見送りをいただき、万感胸に迫る感激でありました。

就任以来の人口減少が進む中で、町長と町民の距離、そして行政と各種団体・組織がより近く濃密な関係になれる可能性を強く感じ、3期目に、「共生のまちづくり」を町政執行の柱に据えたのでした。

人口3,400人とはいえ、多様な職業と心豊かな町民が織りなす「月形町のまち模様」は、上坂新町長を中心に強い信頼の中で、より魅力的に光り輝くものと信ずるものです。

私も法務省矯正広報大使・月形樺戸博物館名誉館長の称号に恥じぬように、月形町の魅力発信の一翼を担ってまいります。12年間ありがとうございました。

議

会

10月21日に平成28年第2回月形町議会臨時会が招集されました。

審議された結果は次のとおりです。

■月形町副町長の選任について

□三浦副町長の任期満了に伴い、月形町副町長選任について、次の方が同意されました。

月形町字スベツ太2番地25
堀 光 一 氏



【経歴】

月形町出身。月形高等学校卒業後、昭和54年月形町奉職。以降、産業課課長補佐、住民課課長補佐、総務課課長補佐、総務課長を歴任。現在55歳。

就任あいさつ

月形町副町長

堀 光 一

私こと、去る10月21日、平成28年第2回月形町議会臨時会におきまして選任のご同意をいただき、11月1日付けで副町長に就任いたしました。

本町は今、少子高齢化や生産年齢人口の減少などに伴い、様々な問題に直面しております。

上坂町長の下、農業、商工業、福祉などが連携して「誰もが安心して豊かに暮らせる共生のまちづくり」の実現のため、もとより微力ではありますが、専心努力してまいります所存であります。

まだまだ若輩者でありますので、皆様のご指導とご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。